

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

# あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第 134 号 2018 年 9 月 10 日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

9 月号  
2018



ベテルギウス玄関の 8/10 の生け花



<やまと国際アートフェスタ>作品シリーズその6

将来、AIなどの発達によって機械などが増えていくと思います。でも、自然が減らないといいです。

### 「未来の大都会に大自然を」

文ヶ岡小学校 5 年生 石井沙季さん

### 平成 30 年度協働事業提案の検討結果報告

提案された市民提案型協働事業の 9 事業と、行政提案型協働事業の 1 事業に対して、協働推進会議にて審議が行われ、その結果を市長に答申。それを踏まえ、すべての事業が協働事業として推進するという結果となりました。

4 月 2 日(月)～4 月 30 日(金)の企画書提出期間から始まり協議期間、申請期間、協働事業提案公開プレゼンテーション協働推進会議を経て、8 月 30 日(木)に協働事業検討結果発表がありました。

### インターンシップとボランティアの受入れをしました

7/3(火)・4(水)の 2 日間、相模女子大学を訪問して、インターンシップ受け入れ説明会を行いました。猛暑の中、緑に囲まれた涼しい広いホールが会場で、恵まれた環境を感じます。授業の合間の昼食時ですので、おむすびを頬張りながらの和やかな雰囲気、両日共 11 名に案内が出来ました。就職や将来の生活などハッキリと考えを述べ、文脈を整理したレポートを提出する“現代女子学生”を頼もしく思いました。(詳細は P. 2)

中高生の夏休みボランティア体験「このゆびとまれっ！」も実施しました。(詳細は P. 3)

### 訂正

「あの手この手」8月号 P.3 のイベント情報の中の大和市民生涯学習振興補助金交付事業 やまと学芸(まなびのわ)トロッコ事業「楽器 講座&チャレンジ! &ミニコンサート」の12月2日(日)ヴァイオリンの会場が中央林間学習センターと記載しましたが、正しくは、市民交流拠点ポラリス 会議室6～8です。

## 今年のインターンシップは7人の女子大生

市民活動センターにて協働事業や市民活動推進補助金事業、センターの役割などのレクチャーを受けた後、「WE21 ジャパン大和」のWEショップや「NPO法人サポートハウス ワン・ピース」にて市民活動の現場を見学。以下に感想文を紹介します。

このインターンシップで様々な体験をさせていただき、多くの方々と関わり、とても刺激になりました。私が一番印象に残ったことは、WEショップの見学です。もう着なくなった衣類などを寄付してもらい、それらを販売し、売り上げをアジアの国々や日本の被災地に支援金として送っています。ボランティアの方だけではなく、衣類を提供することも、商品を買うことも人のためになっていることがあるとわかりました。また、ボランティアの方が楽しそうに活動されていたので、やはり、私も人のためにできることをやりたいと、改めて思いました。(人間心理学科2年 林 智歩)

大和市民活動センターのインターンシップに参加して、シリウス、ボラリス、中央林間図書館など様々な施設を見学させていただきました。その中で、私は、大和市は子育て環境や図書館に力を入れているのだと、感じました。例えば、子育て施設や保育室、子どもたちの遊び場が充実していました。

また、中央林間図書室では、書店のようにオススメ本コーナー等が目立つ位置に設置されていました。特に、シリウスの本棚や近くの柱の色、その上の数字の看板はその場の雰囲気合うようにデザイン設計をととても凝ったそうで、感心しました。

(人間心理学科2年 古川 江里奈)

今回のインターンシップの中でとくに印象に残ったのは、市民活動センターでの取り組みについてです。実際の市民活動を支援している施設である市民活動センターを訪れ、活動内容や施設内の様子を見学させていただいた際、新しい公共を実施していくにあたり、それぞれの活動が独自性を発揮できるような支援を心がけているという言葉がとて印象に残りました。独自で活動することで、ユニークで楽しい事業が展開でき、市民団体の方々も楽しみながら支援を行えることから、このような活動が環境が身近にあるのはすばらしいなと、思いました。(管理栄養学科3年 鈴木 千晴)



それぞれの趣味を聞いて、似顔絵を描きました  
by 望月

今回、様々なレクチャーや体験をさせていただき、とても勉強になりました。特に市民活動についてのお話や体験が印象に残っています。WE21 ジャパン大和の方々はとても生き生きとしており、人を想って活動している姿が素敵で憧れました。また、支援について市民活動センターのスタッフから「魚ではなく、魚を捕るための網を渡すことが本当の支援」だと教えていただき、物資を送ることだけではないのだと知ることができました。わたしの中で何をすることが支援になるのかを考え、自分なりに少しずつでも活動に参加していきたいです。(日本語日本文学科2年 佐藤 ななみ)

今回のインターンシップでは、大和市のレクチャーから保育園やNPO法人での体験など、幅広く、様々な角度から学びを得ました。大和市の特色や組織の全体像を掴んだ後、実際の現場を見学し、市民目線で率直な意見や団体の方の活動内容を伺うことで、大和市の活動が具体的に分かり、課題を知ることができました。また、健康づくり推進課など、様々な課を知り、行政栄養士の役割を鮮明化することができました。市民が安心して施設を利用することができるのは、職員やボランティアさんの努力によるものと感心しました。今回の貴重な体験を今後の学習に生かしたいと考えます。(管理栄養学科3年 蜂須 優未)

私がインターンシップの中で一番印象に残っているのは、「ワン・ピース」での体験です。福祉に興味を持っている私にとって、実際の福祉の仕事現場を見ることが出来たことや障がいを持った子どもとの触れ合いはとて身になる体験になりました。初めての体験でどう接したらよいか戸惑いましたが、子どもたちはとて元気で「トランプをしよう」と誘ってくれ、皆で遊んだことから、とて身近な存在であることに気がつくしました。様々なボランティア活動やお話を聞くことで、自分の世界が広がったと思います。この経験を将来に繋げたいです。(社会マネジメント学科1年 阪本 百花)

今回のインターンシップでは、毎日沢山の経験をさせていただきました。その中で特に印象深かったのは、行政栄養士についてのお話です。将来、行政栄養士になりたいので、現場で活躍されている方のお話はとてとても貴重な体験でした。現在、健康ブームと言われている社会で、間違った食情報が広がらないよう、正しい情報を伝えることがとて重要であるということ、未来の日本の状況を予測して、今できることを行っていることなど、普段聞くことができないお話ばかりでした。よりよい社会になるよう毎日活動している行政栄養士になりたいと、もっと強く思うようになりました。5日間ありがとうございました。(管理栄養学科3年 中村 向日葵)

### 8月14日(火)晴れ猛暑

市民交流スペースでは、PCをマンツーマンで教えてもらっている人たちが数組。赤ちゃん連れのママは途中で青少年センターの会議室で休憩。レポート作成のためにPCに向かっていると思われる若者が5~6人。初老の男性5人のグループは打ち合わせ。他に本を読んでいる人やお弁当を持ってきて食べる人など、利用は様々だ。

ベテルギウスのオープン直後、土日は朝から夜まで、平日は夕方からずっとゲームをしていた中学生たちは、この暑さの中、どこで過ごしているのか、心配だ。

「センター」のある日ある時

## ボランティアの現場から

### 中高生夏休みボランティア体験「このゆびとまれっ！」

中高生ボランティア体験「このゆびとまれっ！」が無事終了しました。  
中学生 5 名 高校生 35 名 延べ人数 77 名が参加しました。



#### 「受け入れ団体」

「地域家族しんちゃんハウス」  
「引地川水とみどりの会」  
「WE2 1 ジャパンやまと」  
「やまと国際フレンドクラブ」  
「サウンドテーブルテニス」  
「大和市芸術文化振興会」  
「子育てほっとサロンたんぼぼ」  
「ハッピー鶴間」「げ・ん・き」「ゆらり大和」「季の家」  
受け入れてくださったみなさま。お忙しい中、日時の調整、活動内容の確認など細かい対応に深く感謝いたします。

#### 「活動報告」

8月18日(土)「季の家」での活動報告です。  
2年生山下遙香・山本ナオミ・張韋嘉・川浪瑠奈4名が「季の家」のボランティアに行ってきた。  
今日は施設の方々や学生時代の部活の話をしました。その他に「富士山」の詩吟を披露しました。みなさんすごく喜んでいました。また女性の詩吟を聞いたことがないという人もいました。(山下遙香)

#### 「感想文」

8月20日(月)「NPO 法人地域家族しんちゃんハウス」  
「しんちゃんハウス」に着くとすぐに前回遊んだ子ども達が来てくれた。南林間小学校に着いた後も、一緒に行った子どもと前回遊んだ子たちとに両腕を取られ、あちこち引っ張っていかれた。顔や名前を覚えていてくれたのがうれしかった。いろいろな遊びに誘ってくれたが、同時に何人にも声をかけられるとどうしていいかわからず平等に遊ぶのが大変だった。また来て欲しいと言われたので、機会があればまた参加したい。(中学3年女子)

#### 8月23日(木)「子育てサロンたんぼぼの会」

泣いてしまった時の対応や、今回は小学生の相手だったので大変でした。保護者との話も貴重なものでした。この体験を生かしていければと思います。自分の子どもが出来た時もここでの初めての出来事が起きた時の対応がいつか生きてくると思うので、これからも頑張っていきたいです。これから従兄弟との対応にも変化してくると思います。本当にありがとうございました。(高校1年男子)

#### タウンニュース(8月31日号)に掲載されました

外国にルーツを持つ市内の子どもたちを対象に、地元の高校生ボランティアが学習支援をする教室「学べ〜」が7月30日から3日間、保健福祉センターで開催された。教育に興味があり、参加したという柏木学園高校3年の金城秀駿さんは「子どもたちに上手く教えられよう、家で参考書をしっかり読んできました」と熱が入っていた。



当日のバジさん

### 市民活動の現場から ... 「OKバジさんとネパールを語る」

日時: 7月30日(月) 14:00~17:00 会場: シリウス 601号室  
主催: 認定NPO 法人いきいきフォーラム草の根支援

OKバジさんとは、ネパール在住の支援活動家の垣見一雅さんのことです。現地で頼まれたら何でも「OK、OK」と答えていたので、「OKバジ(おじいちゃん)」と呼ばれるようになったとのこと。

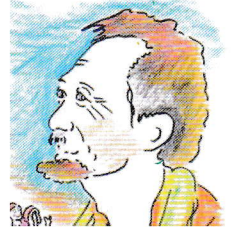
自由が丘で23年間英語教師を務めた垣見さんが、1990年にヒマラヤの山に魅せられ登山。その時、雪崩に遭遇。垣見さんは運よく救助されたのですが、シェルパの若者が行方不明になってしまった。その時の感謝の気持ちから職を辞して、93年に若者の故郷である東バリエ郡ドリマラ村に移住。以来、支援の行き届かない人たちのために、学校建設に力を注いできた。これからも、教育、医療の行き届かない人々のために、体力の続く限り、人々の声を聴き歩き、学校を建てる等の支援活動を続けていくとのこと。

講演会の始まりにあたって、大和地区代表の伊藤さんが、参加者に今日の講演会に参加された動機を聞いたところ、何と、「あの手この手」に同封したチラシを見てという方が2人いました。「チラシの効果がありましたね」と、伊藤さんとうれしさを分かち合いました。他に「広報やまと」「タウンニュース」を読んでという人を含めて、20人ほどの参加がありました。

最初に、今年の6月にNHK仙台が放送したバジさんのネパールでの活動がビデオで紹介されました。バジさんの活動を支援している仙台市内の高校を訪問した時のバジさんと高校生たちとの交流の様子が放送され、支援の継続に希望が持てるものでした。

バジさんからは今までの活動が報告され、その中で「一枚のハガキの力を信じている」という言葉。支援してくれた人へ、お礼のハガキを出す。つまり、喜びを返す=報告。それを受けた人が喜びの返信をしてくれる「喜びのキャッチボール」となり、喜びは連鎖するということです。バジさんが表現する支援は 同情支援→バラマキ支援→惚れた弱味支援→呼び水支援→自立プログラム→ファンドレイジングと変化して、現在は「水」「先生の給料」「女子の教育」を中心に支援していて、大学の修士課程に進んだ女子もいると、うれしい報告がありました。

終了間際に「バジさんに手紙を出したいのですが、住所は？」と聞いた人に、理事長さんが「『ネパール OKバジ』が届きますよ」と、おっしゃったのにはびっくり。200校の学校を建設したバジさんならと、納得しました。



7年前のバジさん  
イラスト by 望月

アインシュタインの言葉「Only a life lived for others in a life worthwhile = 他の人のために生きた人生こそ価値のある人生だ」

このアインシュタインの言葉が私にフィットする言葉です、とバジさん。



やまもり☆ホットスクランブル 大和市民活動センターだより 『やまとっこ☆みつけた』

やまもり☆ホットスクランブル 大和市民活動センターだより 『やまとっこ☆みつけた』

----- <出演しました> 録音 CD が大和市民活動センターにあります。 -----

第 326 回 8/7(火) 「食のアトリエ」

現在グリーンアップセンターで開催中の「地産地消の食育絵本展～大和のりんごとくらす 1 年～」が縁で出会ったセンター職員の笹原さんと小宮山さんにお話をいただきました。

主婦の目線で食育、地産地消を勧めようと立ち上げた「食のアトリエ」が、大和市との協働事業で、市内の農家の協力を得て、子どもたちに収穫から調理までを体験する活動を 3 年間行った。その後、市内の「りんご」の存在を知り、南林間にあるりんご園を訪問するイベントを企画。「りんごとくらす 1 年」という食育絵本が完成。昨年の 7 月～8 月、グリーンアップセンターで開催したパネル展示が好評だったので、今年もオファーを受けて出会ったのが職員の笹原さん。なんと笹原さんは「りんごとくらす 1 年」のモデルになった「えんどうりんご園」を営む遠藤さんのお孫さんだったのです。今もりんご園のお手伝いを続けているという笹原さん。「えんどうりんご園」では紅玉、光琳、フジ、千秋など様々な品種を栽培しているのでぜひ試して下さいと、恥ずかしそうに話されました。グリーンアップセンターでは、9/14 (火) から「秋の山野草展」が開催されるとのことです。

<7月の出演団体> 77.7MHz 9:00 お忘れなく! (再放送は当日の 15:00 と 21:00 です)

9/4(火) 「やまと再生可能エネルギーを考える会」

原発に頼らないエネルギーを考えようと立ち上げた会です。今、私たちは何をなすべきか、一緒に考えませんか?

第 327 8/21(火) 「柏木学園高校短歌書道部」

夏休みの思い出は? と聞かれると口を揃えて書道合宿、全国大会出場と答え、それぞれ合宿ならではの思い出と初めての全国大会に緊張したものの精一杯やりつくした充実感を覚えたと言いました。

柏木学園高校短歌書道部のモットーは「経験は愚者を賢者にする」「心にしなやかな筋肉をつける」というもの。これにならって部活動では、日々練習を重ね、多くの大会に出場しています。また、ボランティア活動においては、市内の各施設に訪問してお年寄りや話しをしたり、一緒にゲームを楽しんだり、時には懐かしい歌を歌ったり、詩を吟じたりして、お年寄りの方々から大変喜ばれているそうです。学校生活、部活動、ボランティア活動とかなりのハードスケジュールをこなしています。

11/18 (日) シリウスにて大和市詩吟発表会、11/24 (土) に詩吟と舞の発表会が控えています。「ぜひ若者にも日本の伝統芸能に目を向けてその魅力を感じてもらいたい」とメッセージを残し、FM やまとの出演を終えた 5 人はその足で元気よくボランティア活動の場に向かいました。

9/18(火) 「猫勢改善専門スタジオやまと」

身体の正しい姿勢を通して、より健康的な生活を営むため、身体のもみほぐし、ストレッチ、エクササイズ等を実践。

**スタッフの つぶやき**

カッコーフェスタのアイデアを募集したいね

拠点やまと会長  
望月則男

奇妙な経路の台風 12 号の予報を見ました。そこで「北向きの風」「北寄りの風」の意味が気になりました。共に北から吹いてくる風で、「北寄りの風」は北西から北東の風になるので、北の風より範囲が広いのだそうです。

市民活動相談担当  
関根孝子

施設の納涼祭で地域の保存会の太鼓をからだで感じる。披後見人は子供のころ、盆踊りのやぐらの上で太鼓をたたいていたのを知っていた。たたかせてもらいますか? ビデオにとる。17 秒で手が痺れる。また 17 秒、繰り返したたく。満面の笑顔だった。

ボランティア担当  
櫻井貞代

遠距離を歩くくと足が棒になったように疲れる。人と歩調を合わせるのがむずかしい。今まで使用していた物干し竿に手が届きにくい。動作が鈍く手に持つ荷物を重たく感じる。などなど痛切に老いを感じる今日この頃です。

ニューステータ担当  
櫻井美紀子

8 月があっという間に過ぎ、予定していたことが殆んど出来ず。自分の帰省や、子どもが帰省してきたこともある。ある友人は「長かった～、体調が悪かったからかな…」と。そうか、元気に動けたということか…それにしても暑かった。

FM やまと担当  
辺見弥生

暑さに弱い私でも 8 月が終わる頃になると往々夏を思い少し感傷的になる。今年はそれに加えてなんだか忘れものをした気分。どうやらそれは花火大会に行けなかったことのように。それほどまでに花火が好きだった自分にちょっと驚いたのです。

HP 担当  
吉浜 学

8 月初旬山梨県の南アルプス北東部にある 3 つの山(地藏岳・観音岳・薬師岳)鳳凰三山に登りに行きました。2 泊 3 日の日程で 1 日目は移動+登山客で人気の青木鉱泉(温泉に入れる)でキャンプになりました。まだ登っていません。・つづく

「あの手この手」担当  
石川美恵子

書道の先生が個展を開催。50 余りの掛け軸を生徒たちが展示。神社からいただいた青竹に清楚な花を挿し、作品の邪魔をしないよう配慮した。私たち生徒に作品作りに意欲を持ってほしいとの先生の思いは伝わったが・・・

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第 134 号 発行日: 2018 年 9 月 10 日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788

<休館日 12 月 29 日～1 月 3 日・毎月第 3 月曜日>

e-mail:yamato@ar.wakwak.com

〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

http://www.kyoudounokiyoten.com/